

会 議 録

会 議 名	山陽小野田市図書館協議会	
開催形式	書面開催	
委 員	香川真澄会長、山本桂子副会長、城戸邦之委員、佐々木智子委員、若山さやか委員、川上富士子委員、村田貴信委員、梅津弘美委員、中村明美委員	
委員数	9人	委員数 9人
事務担当課	中央図書館	
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度事業経過報告について 2 令和3年度の重点目標（案） 3 令和3年度 活動方針（案） 4 図書館運営全般について 	
結 果	<p>○新型コロナウイルス感染防止のため、書面にて開催し、これをもって、山陽小野田市図書館協議会規則第3条に定める会議とし、図書館協議会の会議の成立の旨を報告した。</p> <p>○議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度事業報告について 事務局から、令和2年度中央図書館、厚狭図書館の事業経過について書面にて報告。 (主な意見) <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦での休館もあり、昨年度の比較が難しい中、予定されていたイベントや事業が減り、変更を余儀なくされて大変だったと思う。定期事業などは参加者数の平均の増減があり、高齢者の多い会はやはり減ってしまっていることが目についた。 ・コロナ禍の事で前年と比べることはできないが、大変な中、いろいろと工夫され、行事もそれなりにこなしてこられたことは、評価すべき事と思われる。 2 令和3年度の重点目標（案）について 事務局より令和3年度の重点目標（案）（中央図書館・厚狭図書館）について書面にて説明。 (主な意見) <ul style="list-style-type: none"> ・読書バリアフリー法が制定され、視覚障害者等へのサービスの充実が求められる中、点訳者やデージー製作者など、人材育成も必要となってくると思われる。なかなかボランティアグループだけの力では、人材の確保、養成が困難になっている昨今、図書館として将来、人材 	

の養成など、どのように考えておられるか、お聞きしたい。(ボランティアグループとして将来的に大変不安を感じているので、良いアドバイスをいただきたい。)

3 令和3年度 活動方針(案)について

事務局より令和3年度 活動方針(案)(中央図書館・厚狭図書館)について書面にて説明。

(主な意見)

- ・図書館フェスティバルでは、理科大の科学実験コーナーは大変人気のあるブースであるが、夏休み等、長期の休み中など子供対象に理科大と連携関係が強化される中、科学実験など実施されてみてはどうかと思う。

4 図書館運営全般について

(主な意見)

- ・小中学生に一人一台のタブレット端末が整備された。これを活用した読書の推進ができればと思う。

- ・将来の読み手、読み語り手を育成するために各小中学校の代表児童、生徒を各校の読書推進リーダーに任命し、研修を行い、各校で普及啓発を図るような取組も効果的だと思う。

- ・図書館フェスティバルにおいて、多くのボランティアが必要となる。随筆カフェや詩(ポエム)カフェなどの方々にも協力をお願いすることはできないものか?

以上